

平成20年10月教育委員会会議（定例会）会議録

1 日 時 平成20年10月30日（木）午前10時00分～午前11時58分

2 場 所 所沢市立教育センター 第1研修室

3 出席者 [委員] 富田常世委員長、古敷谷千賀子委員長職務代理者、清水三和子委員、鈴木秀昭教育長

[事務局] 大沢賢教育総務部長、赤岩克夫学校教育部長、藤田晃教育総務部次長、内野正行学校教育部次長兼学校教育課長、田中文雄教育施設担当参事兼教育施設課長、又吉春雄生涯学習担当参事兼生涯学習センター所長、安田政昭保健給食担当参事兼保健給食課長、則武辰夫社会教育課長、中村藤司生涯スポーツ課長、金子美也子文化財保護課長、斉藤雅裕所沢図書館長、永井博彦教育センター所長、師岡林教育総務課主幹兼教育企画室長、平川聖一教育総務課主幹、関口恭一生涯学習センター主幹、嶋津文行学校教育課教育指導担当主幹兼健やか輝き支援室長、川上一人教育総務課主査、市川雅美教育総務課主査、森島健人文部科学省研修員

[書記] 大部稔之教育総務課主査、皆川博幸教育総務課主査

4 前回会議録の承認

5 会議の傍聴人 別添のとおり（1名）

6 開 会

開会に先立ち、文部科学省より研修員として派遣されている森島健人氏の教育委員会会議への出席の可否について審議され、全員賛成で出席が許可された。

本日の議案は、議案第29号から議案第32号までの4件。

議案審議に先立ち、富田常世委員長から「議案第31号 平成20年度教育費予算（12月補正）について」、及び「議案第32号 平成21年度教育費当初予算について」は、予算に関する審議のため非公開とすることとしたい旨の発議があり、出席委員全員が賛成し、非公開で審議されることに決定した。

7 議 題

議案第29号 所沢市生涯学習推進センター条例制定について

資料に則り、又吉生涯学習担当参事から説明がなされた。また、大沢教育総務部長から補足説明がなされた。

以下、質疑。

(清水委員)

現在の生涯学習センターはどうなるのか。

(又吉生涯学習担当参事)

新しい中央公民館が平成22年4月の完成予定なので、来年度は引き続き中央公民館の仮施設として活用していきます。

(古敷谷委員長職務代理者)

早稲田大学が使用する部分についての使用料はどうなるのか。

(大沢教育総務部長)

早稲田大学大学院が使用する部分については、行政財産の使用許可というかたちで協議中ですが、原則として有償です。しかし、市としても恩恵を受けるため、一部減免の方向で検討しています。

(古敷谷委員長職務代理者)

市民が利用する場合の相談料は有料なのか。

(大沢教育総務部長)

早稲田大学で開設されている心理相談は有料ですが、生涯学習推進センターにおいては、教育センターの教育相談室を介しての扱いの場合は、相互研究の観点から無料とすることも考えられます。

(清水委員)

心理相談のなかで医療的措置が必要になった場合に、医療機関との連携はどうなるのか。

(大沢教育総務部長)

早稲田大学で専任の医師を置くことはできないため、医師会や防衛医大などから推薦をいただいた先生に日を決めて医療相談に当たっていただき、必要に応じて医療機関へお願いするという段取りを考えております。

(鈴木教育長)

早稲田大学には医師免許を持っている教授もいますが、スペースはあっても医療行為はできません。現在、特別支援については専門化チームができており、LD、ADHDの診断ができる先生に来てもらうことは、医療行為には当たらないので可能と考えています。

(古敷谷委員長職務代理者)

生涯学習推進センターの開館時間は、公民館と同じなのか。

(又吉生涯学習担当参事)

公民館と同様です。

(富田委員長)

全体を統括するセンター長はいるのか。

(又吉生涯学習担当参事)

統括する責任者を置く予定です。

(富田委員長)

第10条は「市長」でなければならないのか。

(又吉生涯学習担当参事)

施設の貸出については教育長の権限ですが、使用料の減免については市長の権限になっています。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第30号 所沢市立公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例制定
について

資料に則り、又吉生涯学習担当参事から説明がなされた。

質疑は特になし。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

【 傍聴人退室 午前10時28分 】

議案第31号 平成20年度教育費予算(12月補正)について

資料に則り、師岡教育総務課主幹兼教育企画室長、則武社会教育課長、中村生涯スポーツ課長、金子文化財保護課長、関口生涯学習センター主幹、斉藤所沢図書館長、内野学校教育部次長兼学校教育課長から順次説明がなされた。
以下、質疑。

(清水委員)

YMCAからの寄附金に対する歳出の具体策はあるのか。

(内野学校教育部次長)

市として発達障害に関する講演会を開いて欲しいという要望があり、その講師謝礼に充てる予定です。

(古敷谷委員長職務代理者)

生涯学習推進センターの事業用消耗品が高額だと感じる。旧並木東小学校のもので使えるものはないのか。

(又吉生涯学習担当参事)

旧並木東小学校のものは全て児童用の小さいものなので、他の小学校等で有効活用しています。3万円以下が消耗品としての分類になりますが、そのなかで椅子の購入が相当数必要になるものです。学校のイメージを極力残す形での整備を考えております。

(古敷谷委員長職務代理者)

旧中央公民館や教育センターで使っていたものは使えないか。

(又吉生涯学習担当参事)

可能な限り再利用していく考えでおりますが、ある程度はグレードは低くても新しいものを用意したいと考えております。

(富田委員長)

図書購入費の寄附について、ご本人の意向もあるだろうが、寄贈された方の名前を残すようなコーナーを設けてはどうか。

(齊藤所沢図書館長)

年内に展示コーナーを設ける予定です。また、寄附金は高価な備品図書の購入に充てています。

※ 富田委員長の採決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

議案第32号 平成21年度教育費当初予算について

資料に則り、師岡教育総務課主幹から当初予算編成にかかる一般財源枠配分方式についての概要説明に引き続き、順次各課の説明がなされた。

以下、質疑。

(古敷谷委員長職務代理者)

学習支援、特別支援事業は既に実施しているのか。

(内野学校教育部長)

既に実施しています。

(古敷谷委員長職務代理者)

定年退職した先生もできるのか。

(内野学校教育部長)

定年退職者は再任用になるケースが多いですが、学習支援員のなかには、教員経験のある方もいます。また、放課後支援事業にご協力いただいている退職者の方もおります。

(古敷谷委員長職務代理者)

特別支援教育支援員には資格が必要なのか。

(内野学校教育部長)

要綱に定めはありませんが、有資格者もいます。

(清水委員)

財源枠を超えているとのことだが、実際にそこからどのように削られていくのか。

(大沢教育総務部長)

予算配分については、市財政課に委ねられており、大きなところから順に削られてしまうのが現状ですが、20年度も最終的には枠を超えて予算配分されたということもあり、来年度予算についても現状の超過分がすべて削られるわけではないと予想されます。

(富田委員長)

一般財源枠以外のものは、後から付いてくるのか。

(大沢教育総務部長)

起債や補助金が付けば一般財源からマイナスされますので、実際には財源枠からの超過分がすべて削られるということはないと思います。例えば、埋蔵文化財調査センターの土地購入費などは、現状では一般財源の中に計上しておりますが、土地開発公社による買取りになれば、10年又は20年の割賦償還になりますので、一般財源は使わないことになります。

(古敷谷委員長職務代理者)

総合政策部の人件費は、市全体の金額ということか。

(大沢教育総務部長)

教育委員会を除く市全体の人件費が、総合政策部のものです。

(古敷谷委員長職務代理者)

何故、教育委員会は別なのか。

(大沢教育総務部長)

教育委員会は、行政委員会として市長部局とは独立した組織となっているためです。

補足いたしますと、いわゆる起債が認められた場合、それを地方交付税で措置するとよく言われますが、所沢市のようにある程度健全財政を維持している団体は地方交付税がもらえません。特別支援教育支援員なども、国では地方交付税の算定基準には入れていますが、実際に地方交付税は入ってこないことになります。しかし、交付税の算定基準になっているということは、それなりの水準に事業をもっていかなければならず、その費用は市単独予算の持ち出しになってしまうという、健全財政を維持しているがゆえの厳しい現実があります。

(富田委員長)

新規事業も含めて、各事業の必要性がよく分かった。

(清水委員)

こども支援部は、この一般財源に入ってくるのか。

(大沢教育総務部長)

最終的に「こども未来部」という名称になりますが、幼稚園関係予算は、こども未来部へ移ることになります。

(古敷谷委員長職務代理者)

多額の予算が必要なんだという思いがした。

※ 富田委員長の裁決により、委員全員が賛成し原案どおり可決された。

8 協議事項

○教育委員会事務事業の点検・評価について（教育総務課）

資料に則り、藤田教育総務部次長から説明がなされた。

以下、質疑。

(富田委員長)

外部評価委員について、学校評議員をされている方の場合、学校の立場と保護者の立場の両方が分かっているので、他に大学教授など客観的に見られる第三者を加えることで、点検評価が改善に生かせるのではないか。

(大沢教育総務部長)

点検評価は本年度から急ぎよ実施することになったため、面識のある2名の方にお問い合わせすることにしたものです。

(鈴木教育長)

県は9月議会に報告書を提出しましたが、所沢市でも事務事業評価としては既にきちんと実施しているので、それを生かしていきたいと考えています。

(古敷谷委員長職務代理者)

県の点検評価報告書を参考にいただきたい。

9 報告事項

○(仮称)第二中央中学校用地の教育財産用途廃止に伴う財産の返還について
(教育施設課)

○学校給食フォーラムの開催について(保健給食課)

10 その他

- ・教育委員会11月定例会：11月27日(木)午前10時～ 教育センター
- ・教育功労者表彰式：11月27日(木)午後1時30分～ 教育センター
- ・教育委員会12月定例会：12月24日(水)午後1時30分～ 604会議室

11 閉会 午前11時58分